

平成 3 0 年 度 製 作
消 防 指 揮 車 仕 様 書

富 士 山 南 東 消 防 本 部

《目次》

| | |
|-----------------|----|
| 第1 総則 | 1 |
| 第2 提出書類 | 2 |
| 第3 車両概要 | 3 |
| 第4 車両構造等 | 3 |
| 第5 艀装、装備等 | 4 |
| 第6 補足 | 9 |
| 別表 | 10 |

第1 総則

1 目的

この仕様書は、平成30年度に富士山南東消防本部（以下「当本部」という。）が製作する消防指揮車（以下「本車両」という。）の艤装、性能及びその他関係事項について定める。

2 概要

- (1) 本車両は、火災等の災害現場において、総合的な指揮活動を行うことを目的としてワンボックス型車両に各種の指揮活動用装置及び資機材を積載し、機動性、耐久性、走行安定性に優れ、各部の操作、点検整備が容易なことが主用途である。
- (2) 本車両の製作は、本仕様書及び製作承認図等（契約後受注者にて製作すること）に定めるもののほか、道路運送車両法（昭和26年法律185号）及び道路運送車両の保安基準（昭和26年運輸省令第67号）その他関係法令に適合し、静岡県公安委員会より緊急車両として承認されるものでなければならない。
- (3) 受注者は、契約にあたりこの仕様書を了承し、不審な点については、当本部に質問し十分に熟知した上で契約すること。契約後の疑義の全て、当本部の解釈に従うものとする。
- (4) 受注者は、契約後仕様書詳細について当本部と必ず打合せを行い、製作承認図等を当本部に提出し、承認を得て製作に着手すること。
- (5) 受注者は、契約後製作にあたりこの仕様書に疑義が生じた場合は、当本部に連絡のうえ、承認または指示を受けること。
- (6) 本仕様書に記載のない事項で車両の製作上、当然必要な施行については当本部の指示に従い受注者負担を持って行うものとする。
- (7) 受注者は、製作にあたりこの仕様書を変更する必要がある場合には、当本部と打合せの上、変更承認図を提出し、承認を得ること。
- (8) 受注者は、製作全般にわたり厳重な検査を実施すること。
- (9) 本車両のシャシ、材料、艤装品、取付品、付属品及び取付装置は、全て新規製品とし、十分な強度及び安定度を有し、耐久性及び腐食性に優れたものであること。
- (10) 受注者は、設計、製作、材料、部品等に関し、特許その他権利上の問題が発生した場合にはその責任を負うこと。
- (11) 受注者は、当本部立会いのもとで、以下の検査を受けること。

ア 艤装中間検査

受注者は艤装組立が完了した時、当本部による中間検査を受けるものとする。また、検査を受ける予定日の30日前までには検査日時及び場所等を記入した検査依頼書を提出し、承認を受けること。なお、中間検査時の指摘事項及び確認事項等は全て記録し、当本部に文書にて報告することとし、指摘事項に対し双方の解釈の相違がないようにすること。尚、検査時の写真を納入時に提出すること。

イ 完成検査

納車時に以下の完成検査を実施し、当本部が不適合と認めた箇所等については、直ちに修復改善の上、再検査を受けるものとする。

- (7) 外観検査
- (イ) 取付品、付属品及び取付装置操作
- (ウ) 艤装完成検査（作動試験）
- (エ) 走行試験

ウ 納入検収

本仕様書及び承認図に基づき、総合的な検査を実施する。また、上記の検査結果で設計製作上、故障や性能低下及び不良品等が発生した場合は、早急に対策を講じること。

- (12) 受注者、シャシメーカー及び艤装メーカー等は、常に連絡を密にし、艤装中及び完成後

- に支障のないようにすること。
- (13) 保証期間は、納入後 1 年間又はメーカー等が定める期間とし、保証期間後においても当本部の責任と認めない設計、資材、艤装工等の不備による不具合が生じた際は、受注者の責任において無償にて修理又は交換等を行うものとする。
 - (14) 完成車の登録手続、車検回送及び納車完了までの登録、申請費用は本仕様に含むものとし、自動車損害賠償責任保険料、自動車重量税及びリサイクル手数料は受注者が立替払いし、納車後当該車両代金とは別に請求すること。詳細については協議すること。
 - (15) 緊急自動車指定申請の手続きは全て受注者が行うとともに、その費用は受注者が負担すること。また、緊急自動車指定書返納の手続きも同様とする。
 - (16) 納車後 6 ヶ月の車両法定点検整備は、受注者が無償で行うこと。また、エンジンオイル及びオイルエレメント交換を無償で実施すること。
 - (17) 受注者は安全操作技能講習及び点検整備講習を当本部職員に対し 2 日間無償で技術指導を行うこと。詳細については別途協議の上決定すること。
 - (18) 処分車両
 - ア 旧車両の抹消登録完了後、速やかに当該抹消登録証明書を当本部に提出すること。併せて、自動車損害賠償責任保険料の解約返戻金及び自動車重量税の還付金を当本部へ返戻するよう速やかに手続きすること。その際の廃車手続き及び処分費用は、本仕様に含むものとする。
 - イ 車体に表示のある名称等を消去し、引き渡し後において当本部に一切の迷惑を及ぼすことのないよう処理すること。名称等消去後は、当該箇所の写真撮影のうえ当本部に提出すること。
 - (19) 購入台数及び納期等
 - ア 購入台数 1 台
 - イ 納入期限 平成 31 年 2 月 22 日 (金)
 - ウ 納入先 静岡県三島市南田町 4 番 40 号 富士山南東消防本部
 - エ 配備先 静岡県駿東郡長泉町中土狩 910 番地の 1
富士山南東消防本部 長泉消防署

第 2 提出書類

- 1 受注者は、契約後次に掲げる書類を 2 部当本部へ提出し承認を受けること。
(A 4 版ファイル、目次、インデックス付)
 - (1) 製作工程表
 - (2) 車体艤装図
 - (3) 内部艤装図
 - (4) 特殊装備部分の電気配線図
 - (5) 使用材料一覧表
 - (6) その他当本部が指示するもの
- 2 受注者は、納入時に次の書類を 2 部すること。また正本書類は別途提出すること。
(A 4 版ファイル、目次、インデックス付)
 - (1) 完成図
 - (2) 電装機器配置図
 - (3) 工程写真
 - (4) 外観 5 面カラー写真 ※電子データを別途媒体にて提供すること。
 - (5) 本車両取扱説明書
 - (6) パーツリスト

- (7) 緊急自動車指定書の写し
- (8) 自動車検査証の写し
- (9) リサイクル券の写し
- (10) 車庫証明の写し
- (11) 自動車損害賠償責任保険証の写し
- (12) 無線免許状の写し
- (13) 資機材関係図書一覧表（カタログ、品名、数量、型式、メーカー販売店）
- (14) その他当本部が指示するもの

第3 車両概要

本車両は、バンタイプ、ハイルーフ、スーパーロングワイドボディ、寒冷地仕様とし、主要諸元は、次のとおりとする。

1 シャシ諸元

- (1) シ ャ シ 平成 30 年メーカー最新式
- (2) 全 長 5,400 mm 以下
- (3) 全 幅 1,900 mm 以下
- (4) 全 高 2,500 mm 以下
- (5) ホイルベース 3,110 mm 程度
- (6) 乗 車 人 員 5 名（前席 2 人、後席 3 人「その内後席補助席 1」）

2 エンジン性能

- (1) エンジンの種類 水冷 4 サイクルガソリンエンジン
- (2) 排 気 量 2,700 cc 程度
- (3) 最大出力 110 kW（151 ps）程度
- (4) 駆 動 方 式 4 輪駆動
- (5) 変 速 装 置 オートマチックトランスミッション

第4 車両構造等

消防車両として最適な構造及び性能を十分に有するものとし、製作方法全般については次のとおりとする。

- 1 本車両は、堅牢な構造で長期の使用に十分耐え得るものであり、かつ維持管理が経済的に行え、清掃、点検、調整及び修理が容易に行えるものであること。
- 2 車両の前後輪、左右荷重配分には十分配慮し、車両運行に支障をきたさないこと。
- 3 車体全般の防水性及び防錆性に十分考慮すること。
- 4 艤装材料は、日本工業規格に基づく強度、耐久性、防錆性に優れたものを精選使用し、軽量化を図り、点検調整及び部分修理が確実かつ容易にできる構造とすること。
- 5 各装置の取付けは、ボルト締め付け又はリベット締め付けを原則とする。また、鋼板が重なる部分及び合わせ目は、防錆用下地塗装を施してから接合し、完全なシーリングを施すこと。ビス及びボルトはステンレス製とする。
- 6 材料の粗面、切断面、溶接接合部分及び溶接の残痕等は十分に研磨し、ボルトの端末処理は完全に行い、使用者が接触するおそれのある可動部分及び高温となる部分については、危害防止の措置を講じ、安全に留意した艤装とすること。また、塗装前及び納入前には金属粉等を完全に除去すること。
- 7 足掛け、踏み込み部及び器具接触により塗装剥離の恐れのある部分には適切な保護対策（アルミ保護板又はアルミ縞板張り、下地塗装を施す）を行うものとする。
- 8 各機器には、ノイズの発生防止措置及び防止対策を講ずること。また、各配線及び接続部

は十分な電気容量を有するもので耐候性に優れ、かつ、より確実な方法で防水処理及び漏電対策を行うこと。

- 9 取付品、取付装置及び付属品は、別途指定するものを含め、安全確実に積載でき、容易に取りはずしができる堅固な装備を備えること。また、操作性及びメンテナンス性を考慮した位置とすること。
- 10 製作に使用するすべての資機材は、最新型で新品を使用すること。

第5 艀装、装備等

1 車両の外観

(1) フロント

- ア 消防章 (150 mm) はフロントグリル中央部のメーカーエンブレムを外し取付けること。
- イ フロントグリル部にLED赤色点滅灯2箇所取付けること。なお赤色点滅灯は、LED散光式赤色灯及び電子サイレンに連動して点滅する回路とすること。
- ウ ビルドインタイプのフォグランプを取付けること。
- エ 純正品ナンバーフレームを取付けること。
- オ 純正品フロントアンダーミラーを取付けること。
- カ LEDヘッドランプを取付けること。

(2) リヤ

- ア 後部ハッチドア上部にLED赤色点滅灯とLED作業用照明灯の一体型灯を2箇所取付けること。赤色点滅灯は、散光式赤色灯及び電子サイレンに連動して点滅する回路とする。なお、赤色点滅灯は、必要のないときに消灯できるよう、OFFスイッチを設けること。
- イ 後部ハッチドア開放時、点滅する停止表示灯をハッチドア下面に2個取付けること。点滅灯は散光式赤色灯及び電子サイレンに連動して点滅する回路とする。
- ウ リヤバンパーにアルミ製プロテクターを施すこと。
- エ リヤガラスはプライバシーガラスとすること。
- オ 純正品リヤアンダーミラーを取付けること。
- カ 純正品ハイマウントストップランプを取付けること。
- キ 純正品ナンバーフレームを取付けること。
- ク バックガイドモニターを取付けること。

(3) 両サイド

- ア 側面上部にLED赤色点滅灯とLED作業用照明灯の一体型灯を左右2箇所ずつ取付けること。なお散光式赤色灯と電子サイレンに連動して点滅する回路とすること。
- イ サイドガラス、スライドドアガラスはプライバシーガラスとすること。
- ウ 運転席、助手席窓に純正サイドバイザーを取付けること。
- エ 助手席側にアウトサイドミラーを取付けること。
- オ ルーフレールに記録記入用ホワイトボード等の吊り下げ可能なステンレス製フック金具を10個用意すること。なお、金具にはボディーに傷を付けない加工を施すこと。詳細については別途協議の上決定すること。
- カ LED路肩灯を取付け、点灯はスモールランプと連動させること。
- キ 各タイヤハウスには、車両固有のマッドガードを取付けること。

(4) ルーフ

- ア ルーフ前方中央部に、LED散光式赤色灯を取付けること。
- イ 標識灯は「長泉署」と表示し散光式赤色灯に一体型で組み込むものとし、かつスモールランプを点灯したときに連動して表示すること。

ウ ルーフ上取付品工事は、補強及び防水処置を完全にすること。

2 車内概要

(1) 運転室

ア 運転席にフレキシブルマイクを設置すること。

イ 運転席、助手席の間に車載固定無線機（支給品）、車両運用端末装置（AVM、支給品）を取付けること。詳細は「5 消防無線装置」によること。

ウ カーナビゲーションを見やすい位置に取付けること。

エ ドライブレコーダーをインナーミラー付近に取付けること。

オ ETC車載器を取付けること。

カ 電子サイレンアンプ、電装用スイッチパネルを運転席及び助手席双方から容易に操作できる位置に取付けること。詳細は「6 電子サイレンアンプ、電装用スイッチパネル」に記載。

キ 助手席にLEDマップライトを設けること。フレキシブルチューブ等によりランプの照射方向を変えられること。

ク 座席は良質な黒色ビニールレザー張りとし座席表面は、滑りにくい材質とすること。

ケ 指定する位置に概寸（全長、全幅、全高等）を明記した銘板を取付けること。

コ 各スイッチ部には、表示プレートを取付けること。

サ 運転席及び助手席上部、活動に支障のない位置に収納ネット取付けること。

(2) 作戦室

ア 後座席は、リクライニング可能な2人掛け固定椅子（ヘッドレス一体型）及びスペースを確保するため1人用折り畳み式シートを設け、良質な黒ビニールレザー張りとし座席表面は、滑りにくい材質とすること。

イ すべての座席に3点式（1人用折りたたみ式シートは2点式）のシートベルトを設置すること。

ウ 2人掛け席前に振動、防振対策を講じて作戦机を設置すること。詳細は「(3) 作戦机」に記載。

エ 作戦室が十分明るくなるLED室内灯を設けスイッチは作戦机左側に設置すること。

オ デジタル電波時計（支給品）を取付けること。詳細については別途協議の上決定すること。

カ 車輪止め（支給品）2個を後部スライドドア付近に取付けること。詳細については別途協議の上決定すること。

キ 各スイッチ部には、表示プレートを取付けること。

ク 作戦室壁面上部、活動に支障のない位置に収納ネットを2箇所取付けること。

(3) 作戦机

ア 作戦机のサイズ形状及び素材は別途協議の上決定すること。

イ 作戦机には引き出し等の収納を最大数設けること。サイズ形状及び素材は別途協議の上決定する。なお走行中に飛び出しがないようストッパーを設けるなどの措置を講じること。

ウ 作戦机左側助手席後ろに通常サイズ（A3版）の住宅地図が入る地図収納を設けること。詳細については別途協議の上決定すること。

エ 作戦机左側に、自動車用粉末消火器4型1本を活動に支障のない位置に強固に取付けること。詳細については別途協議の上決定すること。

オ 作戦机左側上段に携帯拡声器（支給品）の収納、下段に図書類が入る物入れを設けること。

カ 作戦机の天板上にA4版用紙が収納できるレターケースを設けること。なお走行中に

- 飛び出しがないようストッパーを設けるなどの措置を講じること。
- キ 作戦機の天板上部にコンセントタップ（6口程度）及びUSBポート（2口程度）を取付けること。
 - ク テーブルの高さと幅は後部座席の高さと幅により調整を図ること。
 - ケ 作戦機にLEDマップライトを設けること。フレキシブルチューブ等によりランプの照射方向を変えることができること。
 - コ 外面及び内面には鋭利な突起物等がないようにすること。鋭利部分が生じる場合は危険防止のため丸みをつけるか緩衝材を取付けること。内面には緩衝材を、床面には滑り止めを取付けること。
 - サ 各スイッチ部には、表示プレートを取付けること。
- (4) 多目的スペース
- ア 車体と固定された棚を設け、車体に埋め込み式2口コンセントを2箇所設置すること。棚に可搬式無線機（支給品）収納を設け、サイズ形状及び素材は別途協議の上決定する。将来、資機材の変更が生じた場合は容易に変更できる構造とすること。
 - イ 多目的スペース内が十分明るくなるLED室内照明灯を設置すること。なお点消灯にはON/OFF、ドア連動の切り替えスイッチを設けること。
 - ウ 防火衣及びヘルメットを吊り下げるパイプを取付け（パイプにはS字フック「チューブ保護付き」、強度及び補強を十分行い2段式ステンレスフックを10個取付けること。詳細については別途協議の上決定すること。
 - エ 必要に応じて収納箱を設けること。なお、形状及び素材は別途協議の上決定すること。
 - オ 外面及び内面には鋭利な突起物等がないようにすること。鋭利部分が生じる場合は危険防止のため丸みをつけるか緩衝材を取付けること。内面には緩衝材を取付け床面には滑り止めを取付けること。
 - カ 各スイッチ部には、表示プレートを取付けること。
- (5) 作戦室及び多目的スペース床面
- 人が乗り降りする箇所の床は、雨天時の消防活動等で室内が濡れても滑りにくい表面並びに材質とし、水洗いや清掃等に十分耐え得る防水性を保つこと。なお、床に水等が溜まらない措置を施すものとする。
- (6) 後部荷室
- ア 車体と固定された棚を設けること。
 - (イ) 発電機、投光器、ストレッチャー型指揮機、折りたたみ指揮機、コードリール（支給品）、現場指揮靴（支給品）、ドローン一式（支給品）イーリアップテント（支給品）等の収納部を設けること。棚のサイズ形状及び素材は別途協議の上決定すること。
 - (ロ) 走行中の振動、収納物品の移動等により飛び出さないよう防止機能が付いていること。発電機の収納はスライド式とし、固定装置を取付けること。
 - (ハ) 発電機後方にはコードリール（支給品）が収納できるとともに、油脂分が滴下し、浸食しないよう床面等をステンレス板とすること。
 - (ニ) 走行中の振動、収納物品の移動等により飛び出さないよう防止機能が付いていること。
 - イ 後部ハッチドア内側へ、後部荷室を照らすLED室内照明灯を設置すること。なお点消灯には、ドア連動とOFFモードの切り替えスイッチを設けること。
 - ウ 指揮旗立て（支給品）、可搬式無線アンテナ（支給品）の収納部を設けること。走行中の振動、収納物品の移動等により飛び出さないよう防止機能が付いていること。
 - エ 将来、資機材の変更が生じた場合は容易に変更できる構造とすること。

- オ 必要に応じて収納箱を設けること。なお、形状及び素材は別途協議の上決定すること。
- カ 外面及び内面には鋭利な突起物等がないようにすること。鋭利部分が生じる場合は危険防止のため丸みをつけるか緩衝材を取付けること。内面には緩衝材を取付け床面には滑り止めを取付けること。
- キ 各スイッチ部には、表示プレートを取付けること。
- (7) ストレッチャー型指揮機
 - ア 後部はハッチから、ロールイン式により容易に出し入れができる構造であること。
 - イ 指揮盤の表面板は、マグネット式とし、透明シート付とすること。
 - ウ 表面板の裏側には、収納できる引き出しを取付けること。
 - エ 指揮盤の大きさは、使用時 200 cm×80 cm程度とすること。
 - オ アルミ等の軽量素材で製作し、極力軽量化するとともに、全体の剛性及び重量配分も考慮すること。
 - カ 指揮機に旗立てを設けること。
- (8) ストレッチャー型指揮台収納ボックス
 - ア 指揮台収納ボックスは、十分な強度を持たせること。
 - イ 指揮台を固定させる装置を取付けること。
 - ウ 出し入れの際に、ボディーと接触する部分については、ボディーを保護するため、ステンレス又はアルミ板を取付けるとともに、出し入れをスムーズにさせるため、2方ローラーを取付けること。
- (9) 折りたたみ指揮機
 - ア 持ち運び可能な強化プラスチックで軽量なものとし折りたたみ式とすること。
 - イ 天板はマグネットに対応したホワイトボードとすること。
 - ウ 折りたたみ時サイズは幅 100 cm×奥行 45 cm×厚さ 25 cm程度のものとすること。
- 3 バッテリー、電源、充電器等、ヒューズ等
 - (1) バッテリーは艀装に十分耐えること。
 - (2) バッテリー収納部は、容易に点検整備を行なうことができる構造とするとともに、発生した水素ガスが車内に滞留しにくいこと。
 - (3) 車両後部左側に防水加工を施したAC100Vコンセント(2口)を1個設けること。またカバー(蓋)付とし、雨天時使用しても漏電しない構造で、接続後離脱しない構造を施すこと。仕様及び取付位置は別途協議の上決定すること。
 - (4) バッテリー全自動管理者を積載し、待機中はAC100V入力コネクタから充電できること。また、車両への差込口は、車両後部左側に外部入力マグネット式コンセント(防水)を取付け、マグネット用コンセント用ケーブル(10m以上)を付属すること。取付位置は別途協議の上決定すること。
 - (5) 各コンセントには電源の種類、使用可能電力等の表示をコンセント付近に明記すること。
 - (6) AC100V電源入力は、通常時はインバーターから、外部電源接続時は外部電源からの入力に自動で切換えられるようにすること。
 - (7) 散光式赤色灯及び車載固定無線機器等の特殊電装品の電源関係は、ACC以上で通電すること。ただし、消防無線機のメモリー用電源についてはこの限りではない。
 - (8) ヒューズ関係
 - ア 艀装部分に使用するヒューズは、スライド型サーキットプロテクタ式とし、回路が遮断された時は、容易に確認ができる物であること。また、各ヒューズに名称、アンペア数を明記すること。
 - イ 標準装備のほか、ヒューズボックスを増設し、取付ける機器は全てヒューズを通し配

線するとともに、整備性を考慮した位置に取付けること。また、各ヒューズに名称、アンペア数を明記し、ヒューズ及びアンペアの種類に応じスペアをプラスチックケースにまとめ全種類各2個用意すること。

4 その他装備等

- (1) 純正エアコンディショナー（リヤクーラー及びリヤヒーター）を装着し、運転室及び作戦室を個別に作動可能なものであること。また、運転室及び作戦室の冷暖房効果が十分得られるものであり、他の装置、取付品及び保守管理に支障のないものであること。なお、吹き出し口は、塞ぐことがないように措置すること。
- (2) 安全装置等は車両固有の仕様とすること。ただし衝突回避支援装置については、赤色灯による誤作動を考慮し装備しないこと。
- (3) 寒冷地仕様とすること。
- (4) 運転席及び助手席はSRSエアバッグシステムを装備すること。
- (5) 車両純正仕様の装置があれば推奨して使用すること。

5 消防無線装置

- (1) 本車両運転室内に車載固定無線機及びAVM一式を別に指定する設置業者と打ち合わせの後、設置すること。また、自動出動システムの改修等に係る経費は、受注者が負担すること。システム改修の詳細については別途協議の上決定すること。
- (2) 車載固定無線機及びAVM（I型）等を旧車両から取外すこと。
- (3) 車載固定無線機及びAVM（III型・当本部支給品）は、運転席及び助手席から容易に操作できる位置に架台等を使用し取付けること。詳細な位置及び寸法については別途協議の上決定すること。
- (4) 無線送話器は、運転室、作戦室に1箇所ずつ、運転及び安全上支障がない位置に専用ブラケットにより取付け、無線送話器に識別呼称を白文字カッティングシートにより丸ゴシック体で可能な限り大きく貼付すること。
- (5) 無線機用スピーカーは、運転室に1箇所、多目的スペースに1箇所、音声聞き取れる場所及び乗車隊員の動作に支障のない箇所に取付け、各スピーカーは音量調整機能付きとすること。取付位置は別途協議の上決定すること。
- (6) 無線用アンテナをルーフ上部の電波障害にならない位置に取付けること。アンテナは防錆性に優れた材質で長期使用時に雨水等が侵入しない防水処理を施すこと。
- (7) 室内にアンテナ取付部を容易に点検できる点検口を必要により設けること。
- (8) アンテナケーブルは室内に露出しないよう内張り配線とし、無線機取付位置まで配線すること。なお内張り内でケーブルのばたつき音が生じる恐れがある場合は、フレキシブルチューブ配管などで必要な処理をすること。
- (9) 無線機用電源ケーブルは、バッテリーから無線機取付位置まで配線し、茶色線はACCの位置で通電するように配線とすること。
- (10) 各ケーブル類は余裕を持たせた長さとする。余裕の長さについては別途協議の上決定すること。
- (11) 各配線の端末は、線種を明記すること。

6 電子サイレンアンプ、電装用スイッチパネル

- (1) 電子サイレンアンプ（警鐘の擬似音を発することができ、かつ、拡声装置としても使用できるものであること。マイク付き）を運転席及び助手席双方から容易に操作できる位置に設置し、散光式赤色灯スイッチを組み込むこと。なお、後部座席でも使用できるよう専用マイクを増設し、差込ジャックを取付けること。
- (2) 音声合成装置（アンプ用マイク）の1から5チャンネルの標準搭載メッセージを変更し、6から9チャンネルはメッセージを追加すること。またチャンネル番号とメッセージ

内容を明記した一覧表を附属すること。詳細については別途協議の上決定すること。

- (3) 電子サイレンアンプを利用し無線音声を外部切り替え（オン・オフ切り替えスイッチ付）できるようにすること。
- (4) 「右（左）に曲がります。ご注意ください」は、方向指示器レバーと連動すること。
- (5) 後退メッセージは「Rレンジ」と連動とし、夜間消音機能付きとする。
- (6) 10 連スイッチは無線機収納付近に設置し、スイッチ配列については別途協議の上決定すること。
- (7) 各スイッチ部には、表示プレートを取付けること。

7 付属品

付属品は、別表4のとおりとするが、本仕様に記載されていない事項についても取り扱い及び操作上並びに安全上必要と思われる付属品は別途協議の上決定すること。

8 塗装及び記入文字

- (1) 本車両の外観塗装全般（ホイール部分、アルミ縞板及びステンレス製品を除く）は、消防色（朱色、マンセル値 7.5R4/14 近似色）とすること。
- (2) タイヤハウス内は、黒色とすること。
- (3) その他については、法定塗色を原則とする。
- (4) 納入後、1年以内に塗装部分、メッキ部分等に当本部の責と認められない原因により、変色、亀裂、剥がれ及び浮き上がりが生じたときは再塗装、再メッキ処理等を行うこと。内装色は、別途協議の上決定すること。
- (5) 使用色の補修塗料缶、刷毛を必要数附属すること。
- (6) 本車両の記入文字等は別表6のとおりとし屋根部及び標識灯を除き、再帰反射材基準に満たない反射材を用いること。詳細な位置及び寸法等については別途協議の上決定すること。
- (7) 再帰性反射材カッティングシールによる赤色ライン（幅 76 mm）を左右側面及び後方に横一線の帯状に貼付けること。
- (8) 付属品について、メーカーオプション以外にも文字入れ可能な物品に「長泉署」と記入又は貼付すること。書体は丸ゴシックとしバランスよく配列すること。

第6 補足

- 1 当本部が指示した事項は、この仕様書の追補とする。
- 2 契約締結後、仕様書に記載の付属品等に新製品等が発表され、変更を余儀なくされる場合は当本部と協議し承認を得ること。
- 3 自動車登録番号は「119」を取得すること。

別表

| 1 シャシ | | | |
|-------------|-------------------------|----|---|
| No. | 品名 | 数量 | 内容 |
| 1 | スーパーロングワイドボディ ハイルーフ型 | 1台 | 4輪駆動 オートマチックトランスミッション |
| 2 仕様 | | | |
| No. | 品名 | 数量 | 内容 |
| 1 | 寒冷地仕様 | 1式 | バッテリー増強 |
| 2 | リアヒーター・クーラー | 1式 | |
| 3 | 助手席エアバッグ | 1式 | |
| 3 取付品及び取付装置 | | | |
| No. | 品名 | 数量 | 内容 |
| 1 | 消防章 | 1個 | 150mm 台座付 青銅製クロームメッキ |
| 2 | 散光式赤色灯 | 1式 | ワイレン FV8SVC 1260 mm 電子サイレンスピーカー・標識灯一体型 |
| 3 | フロントグリル部赤色点滅灯 | 2個 | ワイレン IONVBR |
| 4 | 左右側面赤色点滅灯兼作業灯 | 4個 | ワイレン M6V2CR 左右各2箇所 |
| 5 | 後部ハッチ赤色点滅灯兼作業灯 | 2個 | ワイレン M6V2CR |
| 6 | 後部ハッチ開放時赤色点滅灯 | 2個 | ワイレン VTXFCR |
| 7 | 電子サイレンアンプ | 1式 | 大阪サイレン TSK-D151Y (イエルプ付き) マイク音声合成機能付き、 増設マイク MC-D1S(延長差込ジャック付き) |
| 8 | フレキシブルマイク | 1式 | 大阪サイレン UD-200 スイッチ付き |
| 9 | 集中操作スイッチ | 1式 | 大阪サイレン SBW-100 10連スイッチ |
| 10 | 消火器 | 1式 | 4型 取付金具含む |
| 11 | LED室内照明灯 | 3個 | ワイレン CL-2GFC |
| 12 | ドライブレコーダー | 1式 | カメラ一体型 DRT-H66A (同等品以上) |
| 13 | カーナビゲーション | 1式 | バックアイカメラ付 NSCD-W66 (同等品以上) |
| 14 | DC/AC インバーター | 1式 | DC12V/AC100V 600W 相当 |
| 15 | ETC 車載器 (ビルトイン) | 1式 | ベーシックタイプ セットアップ込 |
| 16 | バッテリー全自動管理器 | 1式 | 七宝電子工業 ずぼら充電器 SA-12PX |
| 17 | AC100V 電源自動切換器 | 1式 | |
| 18 | フレキシブルマップランプ | 2式 | LED灯 助手席、作戦机 |

| 19 | 収納ネット | 4 個 | 運転室 2 箇所、作戦室 2 箇所 |
|-------|----------------|-----|-------------------------|
| 4 付属品 | | | |
| No. | 品 名 | 数量 | 内 容 |
| 1 | フロアマット | 1 式 | 全席 純正品 スタンダードタイプ |
| 2 | アルミホイール | 1 式 | 純正品 |
| 3 | タイヤチェーン | 1 式 | スタッドレスタイヤ対応 |
| 4 | スタッドレスタイヤ | 5 本 | アルミホイール付 |
| 5 | 非常信号灯 | 1 式 | |
| 6 | カラードバンパー | 1 式 | G L パッケージ (ボディー同色) |
| 7 | メッキフロントグリル | 1 式 | G L パッケージ |
| 8 | 電動格納式リモコンドアミラー | 1 式 | G L パッケージ (メッキドアミラー取付け) |
| 9 | メッキバグドアガーニッシュ | 1 式 | G L パッケージ |
| 10 | リヤコンビネーションランプ | 1 式 | G L パッケージ |
| 11 | プライバシーガラス | 1 式 | G L パッケージ |
| 12 | LEDヘッドランプ | 1 式 | 純正品 |
| 13 | フロントフォグランプ | 1 式 | 純正品 (LED) ビルトインタイプ |
| 14 | ナンバーフレーム | 1 式 | フロント及びリヤ |
| 15 | リヤホイール灯 | 1 式 | LED型 (左右取付け) |
| 16 | サイドバイザー | 1 式 | R V ワイドタイプ |
| 17 | ハイマウントストップランプ | 1 式 | 純正品 |
| 18 | フロントアンダーミラー | 1 式 | 純正品 |
| 19 | リヤアンダーミラー | 1 式 | 純正品 |
| 20 | 助手席アウトサイドミラー | 1 式 | |
| 21 | リモコンキー | 3 本 | アンサーバック機能付き |
| 22 | パワーステアリング | 1 式 | 純正品 |
| 23 | マッドガード | 1 式 | 純正品 |
| 24 | 車両用工具 | 1 式 | 純正品 |
| 25 | 発電機 | 1 式 | EU-9 i |
| 26 | 投光器 | 1 式 | ノマド 360 |
| 27 | ストレッチャー型指揮机 | 1 式 | |
| 28 | 折りたたみ指揮机 | 1 式 | ベルリング ケースコマンダー |

| 5 無線機及びAVM移設費 | | | |
|--|-----------------|--------|------------------------|
| No. | 品名 | 数量 | 内容 |
| 1 | 車両運用端末装置 | 1式 | NEC AVMⅢ型（支給品） |
| 2 | 車載固定無線機 | 1式 | NEC 車載無線機（支給品） |
| 3 | モニター用台座 | 1式 | |
| 6 記入文字 | | | |
| 記入する文字 | 記入する場所 | 文字色 | 書体 |
| 富士山南東消防本部 | 両側面中央 | 白色（黒枠） | 丸ゴシック |
| Mt.Fuji Southeast F.D. | 両側面中央 | 白地（赤抜） | Hattenschweiler |
| 長泉署 | 標識灯 | 黒色 | 丸ゴシック |
| 富士山南東消防本部 | 後方ドアライン上 | 白色（黒枠） | 丸ゴシック |
| Mt.Fuji Southeast FIRE DEPARTMENT | 後方ドアライン下 | 白地（赤抜） | Hattenschweiler |
| 長泉指揮 1 | 前方助手席側 両側面上部 | 白色（黒枠） | 丸ゴシック |
| FIRE COMMAND TEAM | 両側側面上部 | 白地（赤抜） | Hattenschweiler |
| 長泉 指揮 1 | 屋根部 | 白色 | 角ゴシック |
| 7 支給品 | | | |
| No. | 品名 | 数量 | 詳細 |
| 1 | 車輪止め | 1式 | |
| 2 | デジタル時計 | 1式 | |
| 3 | 車両停止表示板 | 1式 | |
| 4 | コードリール | 1式 | |
| 5 | 指揮旗・指揮旗立て | 1式 | |
| 6 | 折りたたみコーン2本 | 1式 | |
| 7 | クーラーボックス | 1式 | |
| 8 | 現場指揮鞆 | 1式 | |
| 9 | 携帯拡声器 | 1式 | |
| 10 | 可搬式無線機 | 1式 | アンテナを含む |
| 11 | ドローン | 1式 | 収納ケースを含む |
| 12 | イージアップテント | 1式 | 来夢 DXA25（アルミ製） |